

第九回あおぞらカフェを開催しました 带状疱疹ワクチン定期接種のお知らせ

どうぜんの人々 No.5

このコーナーでは、同善会に関わる人々にインタビューしていきます！
今月は小笠原雅彦副院長の登場です！



おがさわらまさひこ
小笠原雅彦先生

- ①出身地 名古屋
- ②趣味 テニス、ゴルフ、キャンプ、ダイビング、旅行、ピアノ
- ③最近楽しかったこと 茨城県に引っ越して幼子連れまわしキャンプをしまくっていること(去年は5回)
- ④同善の良いところ 病院の中まで町の一部になってきているところ
- ⑤地域の皆さんにメッセージ こちらに来て3年、段々と長い付き合いになってきました。地域のみなさんに支えられての同善であり、感謝です。「すべての人にあなたらしい人生を」という理念のもとにみなさまに日々恩返しができればと思っています。



「回を重ねるごとに新しい盛り上がりがあるね」

四月一九日(土)に、同善会クリニックにて第九回あおぞらカフェを開催しました。今回のあおぞらカフェのテーマは「春の花祭り」。東京藝術大学に関わるアートコミュニケーターの方々や台東区社会福祉協議会と共同で計画し、作品を通じて当日いらした方も、現地にすることが難しい方も参加できる内容にしました。具体的には、クリニック駐車場にネットを張り、その場で描いたイラストを飾ったり。訪問診療の患者さんが桜などの花を撮影したお写真や、昔アニメ関係のお仕事をされていたことを活かしたぬり絵、趣味で詩を書いている方の詩集をお預かりして展示したり。それぞれが感じる「春」で駐車場を彩りました。

その周辺では、漢方茶を販売する「調剤喫茶」と、耕房輝による「焼菓子販売」が行われ、おいしい漢方茶とお菓子をお供に会話に花が咲きました。リハビリ室では、江東区にある洋裁スタジオ「Studio Lino」の廣瀬さんによる「服のお悩み相談」、当院リハビリ職員による「福祉用具お悩み相談」、アートカードで遊ぶ「アート喫茶」が行われました。お体が不自由な方でもおしゃれで着やすいお洋服のリメイク品やオーダーメイド品を見て、自分の身近にいる「あの人」を思い浮かべながら参加者や職員が廣瀬さんとお話したり。押し車や杖がお体に合っている状態で使われているかどうかリハビリ職員がお話ししながら確認したり。その横でお飲み物を飲みながらアートカードを見てお話したり。ブリスを跨いで相互に交流していました。ステージでは、「さくらフォークダンス」がフォークダンスを披露していただき場が華やき、「フラワーツリー」が昭和・平成時代に流行した曲を弾き語りをしてくださり大変盛り上がり。当院看護師がコラボしダンスを披露しました。最後に当院スタッフによる楽器演奏では、春らしい曲を演奏しました。アンコールの「ふるさと」では、演奏に合わせて参加者が一緒に演奏したり、歌を歌ったり、手話をしたり。参加者全員

で音楽を楽しみました。参加者からは、「回を重ねるごとに新しい盛り上がりがあるね。服のお悩み相談とか、福祉用具お悩み相談とか。運営も慣れている様子。来られたお客さんが楽しんで帰られている。人数も回を重ねるごとに増えているように感じます。」「病院じゃないみたい」と嬉しいお声をいただきました。あおぞらカフェ開催にあたり、ご協力いただきました方々、当日ご参加された皆様、大変ありがとうございました！(田辺)

イベントのお知らせ

夏バテ予防をテーマに栄養教室を開催！

これからやってくる夏。去年の猛暑を思い出すと憂鬱になるそのあなた！五月二三日開催の栄養教室のテーマは「夏バテ予防」です！外来管理栄養士が、暑い夏を乗り切る方法を伝授します！興味のある方はぜひご参加ください！その他、定例のみある「むぎ茶、アート喫茶、おしゃべりカフェ、健康麻雀、昭和歌謡の会、モルック、将棋道場、健康体操も開催しますので皆様のご参加お待ちしております！スケジュールの詳細は、スケジュールの詳細は裏面をご確認ください。(田辺)

クリニックからのお知らせ

带状疱疹ワクチン定期接種のご案内

当院では、四月一日から来年の三月三十一日まで带状疱疹ワクチンの定期接種を実施いたします。対象となる方は、過去に带状疱疹ワクチンを接種したことがなく、左記に該当する方になります。

- ①令和七年度内に六五、七〇、七五、八〇、八五、九〇、九五、百歳を迎える方
 - ②百歳以上の方全員(令和七年度に限る)
 - ③六〇・六四歳でヒト免疫不全ウイルスによる免疫の機能の障害があり日常生活がほとんど不可能な方
- ワクチンは2種類あり、生ワクチン「ビケン」は接種回数一回で四千元。不活性ワクチン「シングリックス」は接種回数二回で合計二万二千元です(台東区・荒川区在住の場合)。接種をご希望の方は当院スタッフにお尋ねください。(医師加藤)

